

# 流通とSC・私の視点

2017年5月16日

視点(2090)

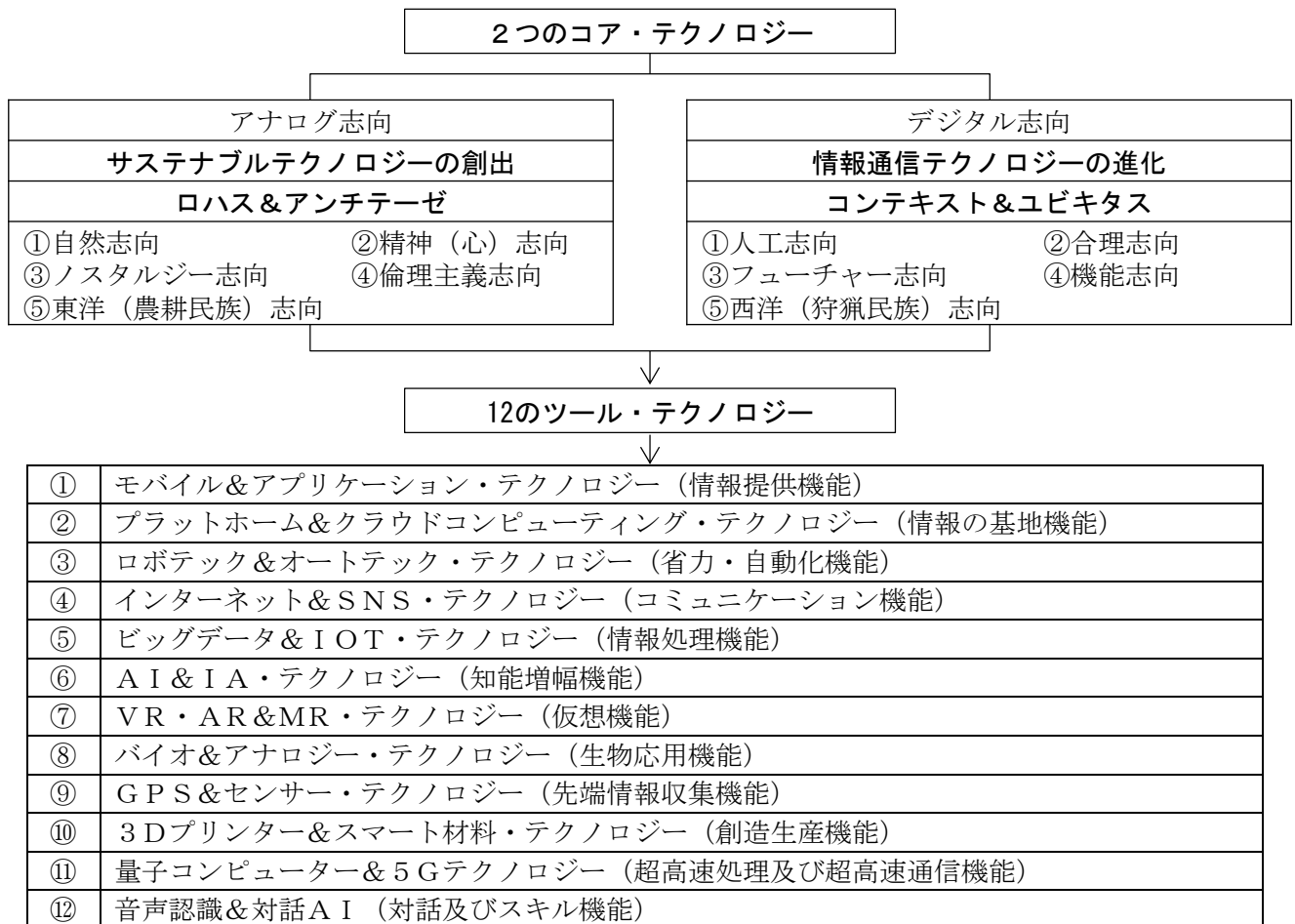
2020年以降の第3次流通大変革におけるコア&ツール・テクノロジー!!

(流通理論編)

1970年の第1次流通大変革、25年後の1995年第2次流通大変革に続いて、さらに25年後の2020年に第3次流通大変革が確実に起こります。流通は25年単位で過去の延長線上ではない大変革が起こり、その大変革の前と後では流通企業及び流通業態の景色は全く異なります。2020年から始まり2045年までの25年間に起こる大変革は、過去の大変革よりも大きな変化が起こることが想定されます。この第3次流通大変革のキーポイントは次の通りです。

- ①戦後3回目の世代交代によるライフスタイル革命
- ②ネット通販・Eコマースによる買物革命
- ③地球環境と人間関係を重視した社会革命
- ④ニューモダン消費の消費革命

これら4大キーポイントを基軸とした大変革には流通イノベーション(技術革新)が必要であり、その流通イノベーションを達成するためには「テクノロジー」(革新を起こすためのソフト&ハード上の技術)が必要となります。この第3次流通大変革(2020年からスタートし2045年に完結)のテクノロジーとなる「コア・テクノロジー」と「ツール・テクノロジー」の概念は以下のようになります。



※AI(Artificial Intelligence=人工知能)、IA(Intelligence amplification=知能増幅)  
※VR(Virtual Reality=仮想現実)、AR(Augmented Reality=拡張現実)、MR(Mixed Reality=複合現実)

以上、2つのコア・テクノロジーの進路に基づいた10のツール・テクノロジーにより、第3次流通大変革が過去の大変革と比べてより大規模に、より劇的に起こることが想定されます。さらに、リアル社会とバーチャル社会が融合し、同時に、リアル店舗とバーチャル店舗の区別がなくなる社会が形成されます。

(株)ダイナミックマーケティング社<sup>7</sup>  
代表 六 軍 秀 之